尙近

卵形或ハ倒卵形或ハ長橢圓狀倒卵形デ略ボ缺刻狀ヲ

-)-~

セ シ 3 jν

鋸齒 ゥ

ガ

アリ且花梗ガ短ク

テ約ソ其葉柄

ト同

長

デア

÷

全

生

日本誌ノ後號デ此あめりか人參ノ圖説ヲ發表シ

種 タ澤山ノ人參 一葉ヲ 3 生 ッ生 一ジ三年 ジ 1 テ 生 中二 年 ŧ ,此レデモ解カル私ハ曾テ竹節人參ヲ人参ハ直根ニナラズニ恰モ竹節人參ノ樣ニ鞭! 生 ハ二葉ヲ生ジ四 ŧ ハ 苗 ガ無 論 小 五年生ノモ 形 ゲデアッ テ三小 ノ様ニ鞭状ニナッ ノハ五小葉 ノ三葉ヲ輪生シ始 葉ヲ出 タモノ ス = 過 ガ出來ル人參ト竹節人參トガ親緣 ギ · メテ花ヲ出 ィ 二年 生 ス ノデア Æ , ハ 五 n 小 葉 植

モノ デア ハコトガ ノー變種 シ ø

曾テ往時佛蘭西人ガ之ヲ右カナダ地方ニ採集シテ支那ニ輸入シ廣東人参ノ北米ノカナダ地方カラ合衆國ノアラバマ、ミネソタ、ネブラスカ並ニミッ quinquefolium L. var. Ginseng Regel et Maack. 然一種トシテ書イテ居ル者モアル然シ是レハ明カ Ginseng) 極メテ能ク類似シテ居ル其レ故學者ニョリテハ我人參ヲ此あめりか人參ノ一變種ト爲シテ其學名ヲ 一名西洋人參ハ學名ヲ Panax quinquefo'ium L. ノアラ <u>=</u>. ŀ 別種ト シタ人ガアル又人ニョリテハ ト稱スルモ ₹⁄ Z 方ガョイノ ノデ此モノト我人參即チ Corean Ginseng ノ原料ニナッタあめりか人参(American デ其違ヒハあめりか人參ハ其小葉 ソリー - 亞米利 諸州ニ互リテ其深林中ニ 加ノモ此亞 一細亞

)こひめうつぎノ新産地トあをきノ異品

久 內 凊 孝

横濱植物 會々員

校生徒藤井潔氏 こひめうつぎ相州箱根ニ産ス 附近 4 jν ヲ得 某地 ザ · リシ ノ箱根採品中ニ本種ニ似タル葉ヲ有スルモ 二於テ雨中盛ンニ開花セル本種ヲ得タリ之レニテ本品 昨年四 . 月三十日畏友文學士濱武元次氏ノ臺灣行ヲ送リテ國 Deutzia Nagurai Makino. , ノ記事載セテ本誌第一號ニアリ余 アリシヲ見タ ハ確質ニ箱根ノ「フロラ」ニ入レ ルモ 該標品ガ花 府津 至 ア専 ヲ缺ケル ハ曩ニ第一 いジテ箱 爲メ其眞否 极 一高等學 = ス 1)

アプラ

第

ナ

y

臺灣

竹アリ

柱竹 ŋ

þ

稱

ス其狀まだけノ如シ

而モ似ラ非ナリ明治二十九年予東京帝國大學

同

島

之ケ

行ヲ共

ス

w

æ

ノ理學士大渡忠太郎及ビ

同

大學植物園

1

内

山富次郎

ノ兩

君

ナ

y

是

v

此新!

版

命ヲ受ケ植

物

採 圖

集

ヲまだけト速了

セシハ

即チ其狀酷

Z'

能 ア

ク之レ

ŀ

・相類セ

シ

ヲ以テ

7

ŋ

ノヲ横濱ニ得タリシニ又昨年四月三十日箱根湯本ニ於テ全部綠

あをきノ花

ハ通常花冠ノ

內面

3

褐

色ヲ

/ 帶ブ

w

Æ

ナ

jν

E

氽

JU

花

花

冠 Æ

白色 ,

E

ノヲ

得

タ 昨

y 惩

然

≥ 月

テ

何 梗

雄 共

花 ニ褐色ノモ

ナリ

桂

竹

富 太 郎

牧

野

望箒 船间 島 如 北端基隆,東京帝國: ク顔 w 、異釆ア 大學 ニ著ク船上 'n 陸 三上 次ノ植 **眸ヲ放テバ該竹先ヅ予** w ノ後乃チ 物 探 檢 此 種 ヲ採集ス是 ガ眼 三人 v 盏 v 港 €/ 本 ヲ抱 邦 入 ク ノ丘上林ヲ 1 該竹ヲ 採 y ナ **≥** シ稈色黄 始 ルメナ y ヲ 帶 丽 シ ビテ立チ テ始 ヌ之

行 Phyllostachys 遠近ニ馳 如 三植 理 グシ見 **选揖斐郡** 學博士 ュ愛護解 w ス同 本郷 べ 、シ其性 戸田 君 Makinoi ラズ萠出シテ今小叢ヲ成ス三冬强テ之ヲ覆 先 村草深二 文藏 ラ顔 遠 君 ク臺灣 HAYATA. 坪井 ルル強 該竹ヲ記 動ナ 伊助 ニ造リ 載シ同君 翁 ŀ 即 ゙ヲ テ意ヲ該竹ニ チ其種名ニ予ガ姓 リ本邦所産ノ竹類ヲ蒐集シ ルノ著ナ 注ギ其まだけニ ル臺灣植物圖譜第五卷 | ヲ用ヰテ以テ予ノ始メテ之ヲ臺灣島ニ ハザ w 非ザ モ敢 テ之ヲ我邸内ニ ルヲ看 テ霜 二收錄 彗 破 害ヲ受ケ シ茲ニ始テ其學名ヲ得 シ 又其生根ヲ携 栽培シ日夕研鑽倦 ズ暖 地 採集 へ還リテ之ヲ後 y 來リ セ ~ タリ日 w ズ其名聲 ゚ヺ テ尚 記 念 7 此